

農林水産商工常任委員会

調査報告事項

(平成23年6月21日)

項 目

- 1 環日本海定期貨客船航路の貨物誘致に関する動向について

商工労働部

環日本海定期貨客船航路の貨物誘致に関する動向について

平成23年6月21日
経済通商総室
通商物流室

1 ロシアの柱（ロシア企業家組織連盟）について

(1) 経緯と現状

- ・ウラジオストクの TOTTORI Trade Center へ寄せられたオファー情報を基に、貨客船航路利用によるロシア向け貨物が期待できる企業として境港への誘致活動を実施。2010年9月1日に境港へ進出。
- ・2010年10月、ロシアの柱とDBSフェリージャパン社間で貨客船の船腹スペースチャーター契約（一定面積を一定額で毎航次借上げる方式）を行い、環日本海貨客船航路を使った輸出を開始。航路就航直後の貨物が少ない時期に航路の安定運航に大きく寄与。
- ・しかし、2011年3月末をもって船腹のチャーター契約が一旦終了。両者が契約更新の交渉を行うも、契約期間中の運用に関する両者の理解の相違、東海からウラジオストク向けの貨物の増加、海上運賃の値上げ提示等により、両社の条件が折り合わず。現状では輸出が困難な状況。

(2) 取扱貨物量（オートビジネスクラブジャパン）の実績（2010年10月9日～2011年4月23日）

＜境港～ウラジオストク輸出（境港管理組合調べ）＞ ※1TEUは20フィートコンテナ1本
コンテナ貨物（53TEU）、中古車（125台）、トラック（12台）、トラクター（46台）、
建設機械（15台）、オートバイ（4台）、エンジン（1バレット）、レジャーボート（1艇）

(3) 課題解決に向けた取組み

- ・オートビジネスクラブジャパン社とDBSクルーズ社の交渉に県が立会するなど、県としても合意に向けて努力を重ねているが、現在までスペースチャーターについては再契約に至らず。

【※ロシアの柱（ロシア企業家組織連盟）とは】

- ・ロシアにおける企業活動の発展、権利保護の促進等を目的に2002年に設立。企業活動に係る法律の改正に関する情報提供からビジネスマッチングまで幅広い企業支援を行っている。
- ・ロシアの柱境港支部は、平成22年9月1日にみなとさかい交流館の1階に開設。日本企業に対するロシア向け物流相談、ビジネスマッチング支援などを展開。民間企業（日本法人）であるオートビジネスクラブジャパンの事業活動拠点も兼ねる。

2 鳥取県中古自動車販売商工組合（JU鳥取）について

(1) 経緯と現状

- ・2010年9月30日、臨時総会にて定期貨客船航路を活用してロシアの柱と連携した境港からの輸出事業について、新たな鳥取県中古自動車販売商工組合事業として取り組むことを決議。
- ・2010年度鳥取県境港輸出入拠点化支援事業補助金を活用し、中古車及び中古部品の輸出環境の整備（展示場及び輸出ヤード）並びに輸出トライアル事業を実施
＜補助金実績額：5,161千円・・・（ハード：4,433千円、ソフト：728千円）＞
- ・ロシアの柱（オートビジネスクラブジャパン）の船腹スペースチャーターの契約更新が未了であることから、輸送コストが上昇しビジネスに支障が生じている。

(2) 輸出成約実績（2010年11月～2011年5月）

29台（2010年度：22台、2011年度：7台）

(3) 課題解決に向けた取組み

- ・ロシアの柱とDBSクルーズ社との間で新たな契約等が締結され、安定した輸出入が可能となる環境構築に向け、両者の協議を促進する。
- ・JU鳥取の意向を伺いながら、境港からロシア向けに中古車を輸出する代替手段についても研究する。

3 その他（環日本海貨客船航路就航2周年記念事業）

環日本海貨客船航路就航2周年記念事業を6月25日（土）17時30分から境港国際旅客ターミナルにおいて実施する。式典に併せて、スイカ・メロンの輸出出発式、船内見学会などを実施する予定。